

# 結い YUI

山梨県人権擁護委員連合会  
事務局発行  
甲府市北口一―二―一九  
甲府地方事務局  
人権擁護課内

「結い」とは田植えな  
どの時の助けあいの  
こと。  
土くさくあたたか  
い言葉です。

## 各地で夏祭りの啓発

県内各地でも夏の啓発活  
動が行われた。

「神明の花火大会（八月  
七日）」「鵜沢夏祭り（八月  
一二日）」「甲府大好き祭り  
（八月一八日）」「八朔祭り  
（九月一日）」など、地域の  
夏祭りに溶け込んでの啓発  
は、祭りの開放的雰囲気も  
手伝い、より好意的に広い  
年齢層に受け入れられた。

記録的猛暑の中で、いず  
れも汗だくの活動であった  
が、おかげで人権うちわは

大好評。少々ごちない若  
者達の浴衣姿にも、あゆみ  
ちゃん、まもるくんのうち  
わはよく似合っていた。  
委員会の活動計画など

## 研修委員会

委員会発足四年目。回を  
重ねることにより研修内容  
も少しずつ充実してきた。  
アンケートを通して建設  
的意見を頂いているが更に  
研修内容を充実させたいの  
でご意見をお願いしたい。

また二年目より市町村及  
び地元委員に協力頂いてい  
ることに特に感謝したい。  
(委員長 久保田幸司)

## 増坪 総明 (甲斐市)

※今年度の研修予定

- 10・23 敷島総合文化会館
- 11・20 鳴沢フジエポックホール
- 2・5 玉穂生涯学習館

□男女共同参画推進委員会  
〔六月九日〕第一回委員会  
を開催し活動がスタート。

〔八月九日〕第二回委員会  
七月実施の男女共同参画  
問題研修会参加者から研修  
内容が報告された。

何にでも積極的に取り組  
み、知識・スキルアップの  
ための自己研鑽に努めるこ  
とを全員で確認しあった。  
〔九月より〕行政関係者と

## 最高峰からの発信 富士山頂と五合目で人権啓発活動

世界遺産登録への気運高  
まる富士山での啓発活動が、  
昨年引き続き本年も実施  
された。今回は富士山頂で  
の活動に加えて五合目でも  
同様に実施、一層充実した  
「富士山啓発」となった。

当初の予  
定では八月  
三日～四日  
の山頂での  
活動と、そ  
の下山者を  
出迎え合流  
して五合目  
でも啓発を  
行うという  
二本立てで  
あったが、  
台風五号の  
接近で登頂を五日～六日に  
変更、五合目では予定通り  
四日に実施された。



計画とは異なってそれぞれ  
別個の啓発となってしまった

こととは残念ではあったが、  
いずれも天候に恵まれ最高  
の行事となった。  
今年新たに加えられた五合  
目啓発は、甲府からは藤巻  
副会長、武安課長、高橋係  
長、正木主任の四名が駆け

間、用意した啓発物品を配  
り人権の尊さを訴えた。来  
年こそ一つの「富士山人権  
啓発」として実現させたい  
ものである。

富士山人権啓発も今年で  
二回目、近い将来、静岡県  
と合同の「山頂啓発活動」を、  
是非とも実現させたいとの  
声有一段と高まっている。

## 登頂記

午後四時半、一行九名は五合目を出発。普通の登山よりやや早めのペースが心配されたが、鼻歌ルンルン気分であった。  
本格的な登山開始直後は元氣よく続いていた会話が、溶岩のゴロゴロした登山道を行くうち途切れがちになった。午後八時過ぎ、やっと七合目の小屋に着く。雲海の切れ目に河口湖・湖上祭の花火が音からずれて浮かび上がり、疲れた体を癒してくれた。

森林帯もいつか消え、勾配も一層きつくなり、遠くに雷の音も聞こえていたが、幸いにも雨には遇わなかった。ふっと空を見上げると満天の星空。全員がうつとりと見入った。隣の人達が北極星を基準に星の解説をしていた。休憩する小屋に着いたのは午前零時頃。約三時間の仮眠で元氣を取り戻し山頂を目指す。頂上での御来光には間に合わなかったが、雲海の中から浮かび上がる大きな太陽に期待せずして歓声があがった。

頂上の上奥宮に辿り着いたのは朝の六時だった。「背てよう一人一人の人権意識の横断幕を掲げて啓発活動開始だ。用意した四〇〇個のストラップはあつという間に捌けてしまった。富士山は正に国際的な山で、三割は外国の人だった。特に子供さんが多く、片言の日本語で「アリガトウ」には感激した。あのストラップの運命が氣になる一瞬であった。

の連携を密接に保つことを目的とし、昨年に引き続き各委員在住の市町村担当部局訪問をはじめている。

(委員長 小笠原和子)

□総務委員会

連合会の各種事業、及び活動の円滑な遂行を図るために委員一三名で構成。年五回ほど会議を開催予定。

※これまでの取り組み

「人権の花」「人権作文」

「人権標語」「富士山啓発」

「SOSミニレター」

「人権パレード」「総会運営企画・県ネットへの要望等」

(委員長 廣瀬 洋)

人権の花実施校に感謝状

「人権の花運動」の感謝状贈呈式が、八月下旬から九月上旬にかけて県内一七校で実施された。

千代田小学校には、八月二八日に武安課長、担当委員二名が訪問。学校側との懇談の中で、花壇とプランターの保水力に差があるための苦心談が披露されたほか、この運動が学校の要望に沿って実施されたことに感謝の意が表された。千代田小学校は花壇コンクールで何度も受賞したことがあり、花の手入れも良く綺麗

に咲いていた。

また、玉幡小学校では「夏休みの管理が大変で、児童が当番で水遣りを実施したが、高温で元気がなくなつた花も、水をやることによつてスツと元気を取り戻すさまに、『生きているんだ』という現実を実感したようだ」と話してくれた。



子どもの人権110番

九月一七日から二三日までの七日間、全国一斉「子どもの人権110番」強化週間が実施された。相談件数はテレビに取り上げられるから一気に増加し、一二件に。昨年に比べて保護者からの相談が多く、内容も体罰に関わる相談が目立った。

第五九回人権週間行事

一二月四日〜一〇日の人権週間には、県内各地で啓発活動・特設相談が実施されるが、メインイベントの人権週間パレードは、一二月九日(日)に実施される。

今年出人出や天候を考慮して、午前中三デパート(岡島、山交、エクラ)で一日人権擁護委員、理事等による啓発活動を行い、パレードは午後一時半から実施する予定である。コースも甲府駅前から銀座周辺、オリオン通りなど中心街を行進するよう変更した。

一日人権擁護委員は、ヴァンフォーレ甲府の選手の方々、中学生作文上位入賞者に加え、タレントについては検討中。城北幼稚園の園児たちによる鼓笛隊なども予定されており、盛大なパレードが期待される。

関東ブロック大会等報告

平成一九年度関東ブロック大会が、七月一九日横浜で開かれ、丸山会長以下八名が出席した。例年二日にわたって開催されていたが本年度は主要な案件を一日に圧縮し能率化を図った。

委員から一言

活動の原点をここに置き

齋藤 勝久(甲府)

私達の活動は、如何に相手の方にお役に立ち満足して頂けるのかにあるのではないでしようか。相手の立場や言い分をしっかり受け止め、その期待に応えていく事が大切なのだと思います。又、社会の動きを敏感に捉えタイミングよく行動する事も大切ではないでしようか。

活動の原点を「行動から学べ」に置き、自分を磨き少しでも人のお役に立てればと思う今日この頃です。

また、七月二六日・二七日には徳島で全連の理事会および総会が開かれ、丸山会長が出席した。

SOSミニレター中間報告

昨年一〇月スタートしたSOSミニレターだが、本年一月九万枚配布。今年度に入ってから相談件数が急増し、九月末現在七九通を数えている。

内容的には予想外に家庭内の相談が多く、子ども人権専門委員をはじめ、担当委員・職員が丁寧に返事を送っている。

退任された委員の方々

平成一九年一〇月一日付けで次の委員の方々が退任されました。在任中のご活躍に敬意を表し、今後のご健勝をお祈りいたします。(敬称は略させていただきます。)

- 田中 仁 (昭和町)
- 浅川 秀則 (北杜市)
- 原 重信 (〃)
- 内藤浜二郎(身延町)
- 小俣 喜逸 (大月市)
- 渡邊 晶三 (〃)
- 坂牛 光伸 (富士河口湖町)

事務局から

□山梨県人権啓発フェスティバルが開かれます。

吉田会場 一〇月二日

小瀬会場 十一月一日

□「女性の人権ホットライン強化週間」実施。

十一月二日〜八日まで

(午前八時三〇分〜午後七時)

男女共同参画推進委員会を中心に配置し相談に対応。

編集後記

お問い合わせが多数ありましたので編集委員の紹介をいたします。(五〇首順)

- 天野五十鈴 (山梨)
- 上平 聖道 (峡南)
- 田邊久美子 (都留)
- 増坪 總明 (甲斐)